



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1153 2019年1月7日



新年のごあいさつ

一般社団法人電波産業会
会長 吉田 憲一郎

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素より当会の事業に対し格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。おかげさまで当会業務は昨年も順調に推進することができました。これもひとえに会員の皆様並びに総務省をはじめステークホルダーの方々のご支援、ご協力の賜物であり、深く感謝する次第でございます。

新年にあたり当会を取り巻く動向に目を向けますと、通信分野では我が国での第5世代移动通信システム(5G)のプレサービスが本年より始まり、本格商用化が来年2020年に控えております。高速・大容量、多接続、超低遅延・高信頼性といった特色を持つ5Gは、社会課題の解決や新たな価値創造を目指す「Society 5.0」におけるデータ伝達の担い手として期待されています。5Gは従来のスマートフォンのみならず、コネクテッドカーやIoTデバイスから生まれる様々なアプリケーションを通して、人々の生活に新たな変化と体験をもたらすことでしょう。

このような5Gへの期待が高まるにつれ、電波を扱う団体である当会に寄せられる期待も大きくなりつつあります。これまでも総務省主導の下で5Gの実証実験等が行われておりましたが、今年はラグビーワールドカップ日本大会の開催年でもあり、同大会においても5Gを利用したデモンストレーションが予定されております。当会も事務局を務める「第5世代モバイル推進フォーラム」(5GMF)等を通して5Gの実現を目指し協力してまいりました。本年もこれまでの経験を活かしつつ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、5Gが本格的に商用化する来年以降の社会の様々な場面において、5G技術が活用されるよう貢献してまいります。

放送分野では、昨年12月1日よりスタートした新4K8K衛星放送のさらなる普及促進を行っております。来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を初め、4K8Kの臨場感ある映像が社会の多様な場所で楽しむことが出来るよう取り組んでまいります。

高度交通システム(ITS)においては安全・安心運転支援を行う「ITS Connect」が既に実用化されております。また内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」では大規模な実証実験が行われており、その成果の収穫が期待されております。当会も、コネクテッドカー社会の実現に向けた各種取組に本年も引き続き貢献してまいります。

公共の資産でもあり、人々の暮らしや社会になくてはならない電波の在り方についても総務省などで検討が行われております。限られた資源である周波数を有効に活用し、社会にとって有意義なものとするために必要な議論・施策に対し、当会も引き続き協力してまいります。

本年もこのような動向を抑えつつ、当会は通信・放送分野の調査・研究・開発、標準規格の策定等に積極的に取り組んでまいります。引き続き会員方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

ARIBの動き

エルサルバドル地デジセミナーの結果について

エルサルバドルは、2017年1月にISDB-T方式の採用を決定しましたが、今般、国営放送局の地デジ本放送開始にあたり電気通信監督庁（SIGET）が記念式典を開催することとなりました。これに合わせて12月20日（木）、エルサルバドルの首都サンサルバドルにおいて、SIGET主催でセミナーが開催されました。

エルサルバドル側から、SIGETのロダス局長をはじめ政府関係者、放送事業者等、日本からは総務省の吉田国際戦略局局長、国際協力課、放送技術課、ARIB、DiBEGとして参加したマスプロ電工、JTECなど約60名が参加しました。

セミナー冒頭、SIGETのロダス局長及び総務省の吉田局長から開会の挨拶があり、その後、SIGETより、エルサルバドルにおける地上デジタル放送に対する取組状況について、日本との協力状況、地上デジタル放送の特長、緊急警報放送システム（EWBS）の重要性、地デジで実現する新たなサービス内容等について説明がありました。

日本からは総務省より日本の地デジの現状と将来展望について、ARIB/DiBEG等からDiBEGの支援活動、送信設備及び受信設備並びにEWBSの海外普及について説明を行いました。

また、セミナー会場に展示場所を設け、DiBEG活動の紹介、室内アンテナ、セットトップボックス（STB）展示説明やEWBSのデモを行いました。



セミナーの様



展示の様

今週の ARIB 内会合（1月7日～1月11日）

- 1月 9日（水） 機器間インタフェース作業班
- 1月10日（木） 評価シーケンス作業班

今週の国際会合（1月7日～1月11日）

- 1月6日（日）～1月13日（日） AGP19-4 会合（釜山）

総務省からのお知らせ

衛星基幹放送の新規参入等に係る放送法関係審査基準の 一部を改正する訓令案についての意見募集 【平成30年12月21日発表】

総務省は、衛星基幹放送業務の認定に係る公募の実施に向け、放送法関係審査基準（平成23年総務省訓令第30号）の一部を改正する訓令案を作成しました。つきましては、当該訓令案について、平成30年12月22日（土）から平成31年1月25日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については、[【平成30年12月21日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

電気通信事業法施行規則及び電気通信事業報告規則の一部を改正する 省令案等に関する意見募集 —LPWA サービスの事故報告基準の追加等— 【平成30年12月25日発表】

総務省は、電気通信事業法施行規則（昭和60年郵政省令第25号）第58条に定める重大な事故報告基準及び電気通信事業報告規則（昭和63年郵政省令第46号）様式第27に定める電気通信事故の四半期報告様式を改正する省令案等について、平成30年12月26日（水）から平成31年1月29日（火）までの間、意見を募集を行っています。

詳細については、[【平成30年12月25日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

**「電波利用料の見直しに係る料額算定の具体化方針（案）」に
対する意見募集**

【平成 30 年 12 月 27 日発表】

総務省は、次期（平成 31 年度から平成 33 年度まで）の電波利用料の料額算定における考え方について、「電波利用料の見直しに係る料額算定の具体化方針（案）」を作成しましたので、平成 30 年 12 月 28 日（金）から平成 31 年 1 月 18 日（金）までの間、意見を募集を行っています。

詳細については [【平成 30 年 12 月 27 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電気通信事業会計規則及び第二種指定電気通信設備接続会計規則の
一部を改正する省令案に関する意見募集**

【平成 30 年 12 月 27 日発表】

総務省は、電気通信事業会計規則及び第二種指定電気通信設備接続会計規則の一部を改正する省令案について、平成 30 年 12 月 28 日（金）から平成 31 年 1 月 31 日（木）までの間、意見を募集を行っています。

詳細については [【平成 30 年 12 月 27 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

無線局免許手続規則等の一部を改正する省令案等についての意見募集

【平成 30 年 12 月 27 日発表】

総務省は、9GHz 帯船舶用固体素子レーダーの導入を図るため、無線局免許手続規則等の一部を改正する省令案等を作成しましたので、平成 30 年 12 月 28 日（金）から平成 31 年 1 月 31 日（木）までの間、意見を募集を行っています。

詳細については [【平成 30 年 12 月 27 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も ARIB ニュースをどうぞよろしく願いいたします。

平成最後の年となりましたが、2019 年も皆様にとりまして、素晴らしい 1 年になりますようにお祈り申し上げます。

(y.s)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp